

環境会計 (本年度のテーマ・・・3事業所の環境保全コストとその結果)

ニチレイの環境会計導入の目的・意義

当社が環境保全活動に対して要したコスト及び環境保全上の効果、経済的効果を定量的(金額・物量)に把握する為の仕組みとして、環境会計を導入致しました。

ニチレイは、近い将来、環境会計を内部管

理の有効な仕組みとして活用致します。

このツールは、環境保全関連費用の適切な使用、効果的投資など環境経営の意思決定に寄与し、ニチレイの環境保全課題の継続的改善に役立つものと確信致します。

本年度の集計と今後のスケジュールについて

本年度は昨年度の環境報告書で記述致しました旧自営主力3工場(現ニチレイフーズ船橋・高槻・博多工場)の環境保全コストの把握を行い、新たにその効果を記載することに致しました。

昨年度12月の大幅な機構改革による生産工場の分社化に伴い、今後は次のスケジ

ールで行うことと致します。

2001年度は、生産量3,000t以上の加工食品事業所の環境保全コストの把握、評価を行います。

2002年度は、関係会社を含めた全加工食品事業所を対象と致します。

2003年度は、全事業所への展開を図ります。

ニチレイフーズ3工場の環境保全コスト... 船橋・高槻・博多工場

環境省ガイドラインに準拠

環境保全コストの分類		主な取り組みの項目	投入コスト(千円)		
			投資	費用	
事業エリア内コスト	公害防止コスト	大気汚染防止コスト	ダイオキシン類測定費用	0	691
		水質汚濁防止コスト	水質測定、薬品購入、オーバーホール費用など	18,595	229,876
		悪臭防止コスト	脱臭装置改修	2,040	7,246
		その他コスト	振動、騒音防止コスト	0	231
	小計			20,635	238,044
	資源循環コスト	資源の効率的利用コスト	該当施設の減価償却分	0	3,485
		産業廃棄物減量化、削減、リサイクルの為のコスト	分別作業人件費、脱水汚泥リサイクル処理費用など	0	96,736
		同一事業系関連コスト	分別作業人件費	0	360
		産業廃棄物処理コスト	産業廃棄物処理委託費用	0	21,797
		同一事業系関連コスト	事業系同上処理委託費用	0	14,280
小計			0	136,776	
上・下流コスト	グリーン購入差額コスト	塩ビ手袋の廃止、変更	0	2,850	
	小計		0	2,850	
管理活動コスト	社員への環境教育向コスト	講師料、他	0	387	
	EMS構築、運用、認証取得の為のコスト	セミナー、審査費用など	0	19,417	
	環境保全対策組織、人件費	事務局、人件費など	0	1,382	
小計			0	21,186	
社会活動コスト	自然保護、環境改善コスト	緑地管理、環境美化人件費	0	3,910	
	地域住民活動支援コスト	工場周辺港湾清掃人件費	0	9,435	
	小計		0	13,345	
合計			20,635	412,201	

環境保全コストの把握と効果の考え方・方法

ニチレイの環境保全コストの把握・集計にしましては、環境省ガイドライン「環境会計システムの確立に向けて」(2000年3月環境省発刊)を参考に致しました。

分類、集計にあたり

「環境保全コスト」にしましては支出の内容を明確に集計し、取り組みの概要を明記致しました。

環境省ガイドラインに掲載されている項目の中で、今期発生がないコストに関しては項目を省いております。

設備関連項目にしましては環境保全に関する設備を予め特定し、固定資産一覧表よ

り当期取得額、減価償却費(法定耐用年数)などを集計、又設備に関する維持コストなども支出内訳より設備ごと集計しました。

人件費にしましては各事業所の環境設備、環境保全活動ごとに必要となる作業工数を割り出し、作業工数に作業人員、各事業所の平均人工賃率を乗じて算出しております。

効果に関しては

基本的には、取り組みにより環境保全コストをかけその結果から得られる効果を把握しております。

産業廃棄物削減、工場用水削減など取り組み結果から明確に金額で把握出来るものを経済的効果として金額表示しております。

事例：ニチレイフーズ船橋工場の環境保全コストと経済効果

今年度は左記3事業所の中で特にISO14001の取り組みにより、「用水の削減」、「産業廃棄物の削減、リサイクル」、「使用電力の削減」などの経済効果が得られたニチレイフーズ船橋工場の事例を取り上げます。

船橋工場では、昨年8月より環境マネジメントシステムの構築による実質的取り組みが行われ(認証取得は2001年3月)、目的、目標から導かれた各部署、ライン毎のマネジメントプログラムの実施により昨年3月末までに、明らかな経済効果として8,373千円が計上されていま

す。(産業廃棄物の削減によるマテリアルロス抑制効果を含めると、経済効果は更にこの金額を上回るものと思われま)

下記表では、経済的効果を創出したと見做す環境マネジメントシステム構築に要したコスト(管理活動コスト)を「経済的効果を創出したと見做す環境保全コスト」として計上し、その経済的効果として、「用水の削減」、「産業廃棄物の削減、リサイクル」、「使用電力の削減」などで得られた金額を対比させています。

特に効果の見られた主な取り組み項目	経済的効果を創出したと見做す環境保全コスト(千円)	経済効果(千円)
用水の削減	↓	3,504
産業廃棄物の削減、リサイクル、排出抑制		4,266
使用電力の削減		603
合計	15,749	8,373

↑
船橋工場の全環境保全コスト
222,521